



KUMAMOTO

# YMCA NEWS

THE KUMAMOTO  
YOUNG MEN'S  
CHRISTIAN  
ASSOCIATION

No.541

2017

8



YMCA学院 診療情報管理士専攻科  
(熊本商業高等学校卒)

石田 明日香さん

”一度決めたら、やり遂げる“

ました。今の自分は力が全然足りてない。就職してからもずっと勉強しなくてはと強く思いました。現在は診療情報管理士認定試験の合格と就職を目指し、勉強に取り組んでいます。

## 子どもたちのために家で逆立ち練習もできるだけ多くのことに挑戦したい!

ロングヘアで清楚なルックス。必死に勉強に励む姿とはまた別の一面も。

「野外活動が好きなんです。YMCAでキャンプリーダーを募集していると知り、入学した年の夏からキャンプリーダーになりました。1人で複数の子どもを担当する責任は大きいのですが、子どもたちが慕ってくれたことへのうれしさが勝りました。何にでも純粋に一生懸命取り組む子どもたちの姿から、むしろ私が学ぶことの方が多いんです」。

そして昨年はYMCA体操教室のリーダーに。「体操をきちんと学んだことがなかったので、スタッフの方に誘われた時は一旦断りました。でも、せっかく両親に学費を出してもらってYMCA学院に来ているのだから、できるだけ多くYMCAの活動に挑戦してみたいと思って。私、結構、前向きなんです」と笑います。幼児クラスのサポートから始まり、研修や先輩リーダーのアドバイスを受けながら、数カ月で小学生の指導も任されるようになりました。「指導するからには責任があります。家では壁に向かって倒立の練習。元保育士の母からは子どもとの接し方などを教えてもらいました」。

今年の春休み期間中に行われた5日間の体操教室に、跳び箱が苦手だという小学4年生の男の子が参加しました。リミットは5日。「ここで跳べなかったら、この子はずっと跳べないかも」と思った石田さんは「私が跳ばせてみせる!」と熱心に指導。「3日目に4段が跳べるようになって“リーダーありがとう”と言われてもらえたんです。できなかったことができるようになった時のあの感動、忘れられません」。

## 患者の命に関わる責任への思い

「一度決めたら、やめたくない。そんなタイプです」。

友人と一緒にしゃべりしている姿は“イマドキ女子”。ところがインタビューが始まると一転、まっすぐに見つめながら、きれいな言葉遣いでハキハキと話す石田さんに引き込まれそうです。

医療事務の仕事に就くことを目指し、専門学校に入学して3年。入学当初は、高度な医学的知識を必要とする授業内容に驚き、「ついていけないかも」と戸惑ったそうです。しかし、両親とも相談して「やるしかない」と決意。医療事務管理学科(現医療事務情報管理科)で2年間のカリキュラムを修了後、今度はより高度な専攻科に進むか、就職すべきかを悩みました。考えた末に、やはり診療情報管理士になりたいと、資格取得に向けて専攻科でもう1年学ぶことを決めました。

石田さんが目指す診療情報管理士とは、患者の情報を管理・分析し情報提供を行うなど、医療情報の活用を行う職種。年々、医療現場でのニーズが高まっています。「6月の実習では、実践的な知識と仕事内容を学び、改めて患者さんの命に関わる仕事だと実感し



## 医療関係の現場で働き

### 人から信頼される人になりたい

勉強とリーダー活動に加え、YMCAでのボランティア活動にも積極的に参加してきた石田さん。「2年生の時は結構忙しかったですね。友だちからは“なんでそんなにボランティアばかりするの?”と聞かれますが、単純に楽しいんです。YMCAは海外の人も含め、いろいろな人と関わることができるのが魅力ですよ。もちろん、友だちともよく遊びにいくんですよ」と話します。



九州北部豪雨支援街頭募金にも参加

「私が目指す診療情報管理士は、例えば、ドクターが書類に間違った記載をしていた場合には、訂正を依頼することもある立場です。それだけに十分な知識がないと務まりません。そこが魅力でもあります」。そして、「患者さんや医療現場の同僚たちから信頼される人になりたい」ときっぱり。その姿に、自ら決めたことをやり遂げるために努力を続ける芯の強さを感じました。

## Pickup

みなみYMCA  
サザンキャンプ  
「吊り橋を渡って、  
いざキャンプ場へ!」



「川魚が釣れたよ」  
御船町スポーツセンター  
野外活動クラブ

「ピザができた!」  
ながみねファミリーYMCA  
スマイルキャンプ



# Information 行こう 見よう 深めよう

8月・9月

## 懐かしい英語の名曲と一緒に 歌声広場わいわい in English

6月に上通YMCAで開催し好評を博した歌声広場わいわい in English がみなみYMCA、むさしYMCAに登場。発音のコツや歌詞にまつわるミニ解説を聞きながら、楽しみましょう。

費 500円(税込) 定 40名  
他 無料駐車場有り

### みなみYMCA

日 8月30日(水) 11:00~12:30  
場 みなみYMCA(熊本市南区田迎)  
電 096-378-9370

### むさしYMCA

日 9月8日(金) 13:30~15:00  
場 むさしYMCA(合志市幾久富)  
電 096-248-6334



歌  
×  
英語

9月10日・16日

## 楽しみながらチャリティ YMCA祭

楽しむ  
×  
チャリティ

今年も各YMCAでお祭りを開催します。地域の皆さん、どなたでも来場可能です。内容はステージ発表、のみの市、バザー、ゲーム、模擬店、抽選会など。益金は、災害復興支援、国際協力活動、地域活動、青少年育成等のために用います。

### みなみYMCAサザンフェスタ

今年は「つながろう!みんなのみなみで!!」をテーマに開催。お楽しみ抽選券の前売り特典がついたチケットを販売中です。



日 9月10日(日) 11:30~15:00  
場 みなみYMCA(熊本市南区田迎)  
電 TEL 096-378-9370

### ながみね祭

毎年大賑わいのながみね祭。今年も、多くの皆さんに来場していただける地域の祭りを目指して準備中です。



日 9月16日(土) 16:00~20:00(予定)  
場 ながみねファミリーYMCA(熊本市東区長嶺南)  
電 TEL 096-385-0676

YMCA祭ではバザー出店品、抽選会賞品のご寄贈をお願いしています。ご協力いただける場合は、各YMCAにご連絡ください。

9月9日 Saturday

## 留学生たちが想いを語る YMCA学院日本語科スピーチ大会

YMCA学院日本語科に通う留学生によるスピーチ大会を開催します。学生たちの学習の成果をぜひご覧ください。

日 9月9日(土) 10:00~12:00  
場 東部YMCAレクリエーションホール  
内 予選を勝ち抜いた留学生がスピーチをします。  
電 東部YMCA TEL 096-382-6661



国際  
×  
学ぶ

8月26日 Saturday

## 夏の阿蘇で地域の皆さんと語り合う 車帰感謝会

阿蘇YMCAが阿蘇市車帰地区の皆さんに感謝を込めて開催する「車帰感謝会」。地域の皆さんと、YMCA会員がバーベキューを囲みながら交流のひと時を過ごします。

日 8月26日(土) 18:00~(予定) 場 阿蘇YMCA(阿蘇市車帰)  
費 2,000円 電 TEL 0967-35-0124

交流  
×  
阿蘇

日 日時 場 会場 内 内容 費 参加費 定 定員 案 参加条件 持 持ち物 対 対象 催 主催 締 締切 申 申込 問 問合せ 他 その他



総主事の  
タラント  
Vol.39

talanton

### 継承すべきもの

ローマ・カトリック教会にて宗教改革運動が起り、500年。その記念の時を今年10月に迎えるようとしています。様々な多様性を認めていくことが難しいこの社会。キリスト教界において、教派を越えた運動が進み、かつて離れた関係が、様々なプロセスを経て一致に向けた歩みを進めています。

また、150年前には、長崎の浦上地区の信徒

約3,400人が流罪となって、棄教を迫られました。そのことは「浦上四番崩れ」と呼ばれ、明治政府が1873年にキリスト教の禁教を解くまでに、約600人もの方が殉教したと言われています。

このように分裂したり、迫害を受けたりしながら、先人が継承してきたものは何でしょうか? 至るところで、紛争やテロが発生し、貧富の格差はますます広がり、平和とは程遠い状態にあります。このような時代だからこそ、信念を持って行動できる人、人の痛みを感じて、その人々を支えたり、仕えたりすることが大切です。

さて、熊本朝拝会をご存知でしょうか。1967年6月19日、熊本の地で、週に1回のキリスト教超教派の集いの運動が始まり、今年50周年を迎えました。熊本YMCAの先人、堀原信一さ

んが熊本朝拝会の開設から重責を果たし、御言葉を聞き、賛美を捧げ、祈りを通して交わりを持って、平和のメッセージを発信してきました。その志を受け継ぐ者として、熊本YMCAは市民クリスマスの行事、熊本バンド早天祈禱会などキリスト教の超教派の集いを呼びかけています。

今年6月、熊本朝拝会の50周年記念祈禱会・式典が熊本YMCAの会館で行われ、多くの人が集い、交流できたことに感謝します。先人の想いを胸に、原点回帰し、次の世代へ継承していくことの大切さを確認する機会にもなりました。次の50年、100年と、平和な社会を創り出していくものとして何をすべきか。その器としての働きを熊本YMCAが果たすことができれば幸いです。

## R | E | P | O | R | T

[ 6月18日⇒ 7月23日 ]

## ウエルネス 一人ひとりの生命を大切に 水上安全キャンペーン&みんな泳げる25M運動

YMCAでは、海や川、プールでの水遊びの機会が増える夏を目前に、子どもたちが安全で楽しい夏を過ごすことを願って、様々な活動を展開しています。

水の事故を未然に防ぐための知識と技術を身につける「水上安全キャンペーン」では、水泳教室の中で、洋服を着たまま水に入る着衣泳体験を実施しました。子どもたちは水着と違い、体を動かしにくいことを実感。水の事故から身を守る術を体験しました。この活動は、地域の多くの保育園や幼稚園、小学校でも水上安全講習会として実施しています。

6月28日(水)に実施した嘉島西小学校では5・6年

生がペットボトルを使って体を浮かせることにも挑戦。子どもたちからは「他にどんな物を使ったら体が浮くのか調べてみたい」などの感想が聞かれました。

6月18日(日)は、みなみYMCA、ながみねファミリーYMCAで、地域の小学校の水泳に苦手意識を持つ子どもたちを対象とした水泳教室「みんな泳げる25M運動」を行いました。最初は不安も多かった参加者。しかし、終了する時には、「息づきができた」「楽しい」「学校の授業が楽しみ」など、多くの子どもたちの達成感に満ち溢れた笑顔を見ることができました。

ウエルネス事業部 山田幸平



着衣泳体験(むさしYMCA)

## ながみね 地域と共に ながみねファミリーYMCA 30周年

7月2日(日)、ながみねファミリーYMCA設立30周年記念式典を開催しました。

第1部は「ここに祝福を、これから祝福を」と題して日本福音ルーテル神水教会牧師の角本浩さんによる記念礼拝が行われました。第2部の式典では、熊本YMCA会長の福島貴志さんによる挨拶の他、多くの皆さんからのお祝いのメッセージを紹介。また、力を入れている地域活動、防災活動に関する記念品の贈呈式を行いました。ひがしワイズメンズクラブとながみねファミリーYMCAから地域町内会に防災ホイッスルを、熊本ひがしワイズメンズクラブからながみねファミリーYMCAヘントと防災用リヤカーが贈呈

されました。第3部祝賀会では、食事を囲んで楽しい交流ができました。

式典を通して、30年という年月の中で関わった皆さんが、地域の皆さんの幸せと子どもたちの成長を願い続けてきたこと、熊本地震を乗り越え、地域の防災拠点として絆を強くしてきたことを改めて確認しました。

次は30周年を記念して、9月16日(土)にながみね祭を盛大に行います。ぜひ皆さん、お誘いあわせのうえお越しください。

ながみねファミリーYMCA 丸目陽子



## リフレス 高校・大学生が野外活動指導を学ぶ キャンパーズコネクション

青少年の野外活動の充実を図るため、自然体験活動等の指導者または、活動を支援するボランティアを養成することを目的とした「リフレスおおむたキャンパーズコネクション(野外活動指導者等養成事業)」。

今年で5年目5回目を迎えた事業は、6月と7月の2回行われ、大牟田市内の高校生32名と大学生2名の合計34名が参加しました。大学生2名は、4年前から当施設の様々な活動にリーダーとして協力してくれています。

宿泊体験では、リフレスおおむたで年間を通して野外活動を行う小学生のグループ「がまだす隊」と

「なんでもやる隊」のメンバー50名も参加し、2日間寝食を共にしました。

「子どもが好き」「ボランティアに関心がある」「先輩や先生から紹介されて」など様々な理由で参加した高校生たち。参加者のほとんどは野外活動が初めてでしたが、貴重な体験になったようです。

今後は、定期的に研修会や交流会を実施してリーダーとして資質の向上をし、関心を深めてもらい、リフレスおおむたのボランティアリーダーとして、多くの出会いと学びを経験してくれることを願っています。

リフレスおおむた 東久文



## 木山 住民の力を集結

7月23日(日)18時より熊本YMCAが地域支え合いセンターの運営を務めている益城町の木山仮設団地で夏祭りが開催されました。今回特別に実行委員会をつくって、住民の手作りの夏祭りとして企画されました。

予想以上の来場者数に、開催時間を前倒し。ステージとして用意された東集会所前では住民の皆さんが参加するカラオケ大会などのイベントもありました。出店は焼きそばや串フランクなど多彩で、買い求める人たちの長い列も。東部YMCAからはチヂミを出店、ながみねファミリーYMCAのリーダーたちがストラッ

## 仮設団地夏祭り

クアウトのゲームコーナーを担当。ワイズメンズクラブの協力もあり、幅広い交流の機会になりました。

子どもから大人まで楽しめる夏祭りにしようと、企画、準備、当日の進行など、すべて住民主体で行われました。天気にも恵まれ多くの住民や近隣の皆さんに来てもらうことができました。最後は住民の有志による盆踊りがあり、幕を閉じました。

仮設住民の皆さんにとって、よい思い出となり、これからの復興に向けて力強い後押しになったことでしょう。

木山仮設団地地域支え合いセンター 日野充裕



# 熊本YMCAサッカー50周年記念 サッカーOB・OG交流戦



日時／7月15日(土)10:00～12:00

場所／菊陽町杉並木公園さんさんスポーツ広場



熊本YMCAは1967年に九州で初めて民間団体としてサッカークラブを開講。九州で最も長い歴史を持つクラブチームです。創立50年の節目を迎えた記念事業の一環として「熊本YMCAサッカーOB・OG交流戦」を開催。約30名が晴天の下、汗を流しました。



## 九州北部豪雨 緊急支援募金

2017年7月5日から九州北部で発生した記録的な豪雨により、甚大な被害が生じています。熊本YMCAはこの災害に対し、西日本地区YMCAならびに日本YMCA同盟と協働し、中長期的な支援活動に取り組んでいきます。



九州北部豪雨緊急支援募金は、次の支援活動のために使われます。

- ・被災地復興支援活動のため
- ・被災地の子どもたちのための心のケアプログラム

### 【期間】

2017年7月6日～9月30日

### 【募金方法】

お近くのYMCAに直接お持ちいただくか、下記銀行口座にお振込みください。

### 【振込先】

■みずほ銀行(0001)熊本支店(675)(普)1434845

口座名義 災害支援緊急募金

■肥後銀行(0182)新町支店(103)(普)1296939

口座名義 災害支援緊急募金

※「九州豪雨」と明記してください。

### 【お問合せ先】

公益財団法人 熊本YMCA 本部事務局(災害復興推進室)

TEL 096-353-6397 熊本市中央区新町1-3-8

※熊本地震復興支援募金にも継続して取り組んでいます。ご協力お願いいたします。

## わたしと聖句

ヨナ書2章7節

わたしは山々の基まで、地の底まで沈み地はわたしの上に永久に扉を閉ざす。

しかし、わが神、主よ

あなたは命を

滅びの穴から引き上げてくださった。

### いのちを支えるもの

阿蘇郡小国町に小さな集会所があり、月に一度礼拝を行っています。先日、礼拝後の茶飲み話で、大分の津江から通ってこられる方から面白い話を聞きました。

その方のご自宅の近くには大きなダムがあり、いつも水を満々とたたえている。しかし、今年春から梅雨の初めにかけてあまり雨が降らなかったため、ダムの底に沈んでいた木々が久しぶりに顔を出した。そして、その中の一本の桑の木

が生きていて、驚いたことに、最近実をつけたのだというのです。

旧約聖書・創世記の「ノアの箱舟」の物語には、大洪水の難を箱舟で逃れたノアが、洪水後、水が引いたかどうかを確かめるため、船から鳩を放したところ、鳩がオリブの葉をくわえて帰ってきたので水が引いたことを知った。という場面があります。「一年近くも水の底に沈んでいたオリブの木が葉を出すなんて、ありえるのか？」と、これまでは半信半疑でしたが、その桑の実の話聞いて、「もしかするとありえない話ではないのかもしれない」と思いました。

もう無理だろう、死んでしまっただろうと思われたところに、実はいのちが生きていた。深い水底で桑の実を支えていたのと同じ神さまの恵みが、私たちにもあることを信じたいと思います。何よりいま、大雨でたいへんな思いをしておられる豪雨被災地、今もまだ復興の途上にある熊本の被災地とそこに生きる一人ひとりの上にも。

日本福音ルーテル室園教会

西川 晶子

発行所／(公財)熊本YMCA  
〒860-8739 熊本市中央区新町1-3-8

TEL 096-353-6397(代)

発行人／岡 成也 編集人／富森 靖博

定価60円 購読料は会費に含む

www.kumamoto-ymca.or.jp



### 熊本YMCAの使命

共に生きる社会 生涯学習の推進 ボランティア活動  
地球環境の保全 ウエルネス活動 平和な世界

### 2017年度基本聖句

ヘブライ人への手紙 13章5節

わたしは、決してあなたから離れず、決してあなたを置き去りにしない。